

地域学校協働活動だより

令和８年１１月６日発行　福島県教育庁県北教育事務所

～ミシン学習～

川俣町立川俣小学校

１０月２６日（月）に、川俣小学校の家庭科の授業を参観しました。この日は、地域ボランティアの方４名が５年生のミシンの学習をサポートされていました。





（川俣小は）生活科や総合の学習などで、授業に地域の方が来て教えてもらうことがたくさんあります。手縫いもミシンも初めてで難しいけれど、地域の方に手伝ってもらっているので、今のところ順調です。

（５年生より）

【前単元の手縫いの学習のところから続けて教えてもらっています】

家庭科の教科書に書いてあることはわかっても、私は不器用なので、うまくいかないことがよくあります。地域の方がどうすればうまくいくかコツを教えてくれるので、いつも助けられています。

（５年生より）





【糸がなくなったりミシンの調子が悪くなったりしたときにも・・・】





【「おばちゃん！ちょっと助けて！」あちこちで声が上がります】

地域学校協働本部につい気軽に連絡してしまうのですが、どんな依頼のときにも、温かく子供たちに関わってくださる地域の方々をたくさん紹介していただいてきました。地域学校協働本部自体がこの町の大きな財産であると感じています。

（校長先生より）



「たくさんの地域の方のご協力をいただきながら活動しています。また、双方向でつながり合う活動になるといいなと思っています。」令和４年度から地域学校協働活動コーディネーターをされている佐藤淳子さんは、地域が子供たちを支えるだけでなく、子供たちが地域に貢献する協働活動を目指しています。「ミシンの学習を補助していただけませんか？」「よさこいの指導ができる方はいらっしゃいませんか？」などの先生方のリクエストに応える一方で、地域から寄せられる様々な郷土学習への願いを受け止め、学校の様子を見ながら校長先生に届けています。

コーディネーターの佐藤さんの橋渡しによって、人と人とがつながり、たくさんの思いや願いがかたちになっています。